



互いに認め合う

ラグビーワールドカップでは、日本チームが大活躍していますが、試合の勝敗以外にも話題となっていることがあります。日本チームのキャプテンが、活躍した相手チームのロシアのロッカールームを訪れて日本刀を贈ったこと。台風の被害で試合中止となったカナダチームは釜石の町の土砂の片付けボランティア、ナミビアチームはラグビーファンとの交流会を実施したこと。サッカーワールドカップで日本人が試合後に観客席の掃除をしていたことが話題となりましたが、今回のラグビーでは試合後に選手自身が使用したロッカールームを掃除することが各国に広まったこと。試合後にグラウンドでお辞儀をすることが広まったことなどが話題となっています。

ラグビーには、「ノーサイド」（試合が終われば自陣も敵陣もなく健闘したお互いを讃え合う）という精神があります。日本が試合に勝っていることも嬉しいですが、世界の人々が互いに理解しあい、協力しあっていることは、とてもすばらしいと感動しています。

自分のすべきことは、全力で取り組み、他者に敬意をもって認め、助け合うことができる児童・生徒となるよう教職員が手本を示しながら努力していきます。（山賀）

